

平成 27 年 度

小学校教員資格認定試験
教職に関する科目 (Ⅱ)


生 活


注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 27 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 50分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

[マーク例]

(よい例) 

(悪い例) 

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 1 章 総説 2 生活科改訂の趣旨 (1) 改善の基本方針」の一部である。文章中の から の空欄に当てはまる正しい語句の組合せを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 1 は、「具体的な活動や体験を通して、人や社会、自然とのかかわりに関心を持ち、 について考えさせるとともに、その過程において を身に付けさせるといったその趣旨の一層の実現を図るため、人や社会、自然とかかわる活動を充実し、 についての理解などを深めるよう改善を図る」ことである。

生活科の特質は、直接体験を重視した学習活動を行うこと、身の回りの地域や自分の生活に関する学習活動を行うことなどにある。また、それらの学習活動において、自分の生活や について考えさせたり、 を身に付けさせたりして、 を養っていくことが趣旨である。

	A	B	C
ア	自分自身	生活上必要な習慣や技能	自立への基礎
イ	他者の生活	生活上必要な習慣や技能	学力の基礎
ウ	自分自身	生きる力	学力の基礎
エ	他者の生活	生きる力	自立への基礎

問 2 『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 生活科の目標 第 1 節 教科目標 2 教科目標の趣旨 (2) 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつこと」には、生活科の教科目標の趣旨が以下のように解説されている。文章中の①から④の下線部分のうち、正しい記述の部分はいくつあるか、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

生活科の学習は、児童が自分とのかかわりの中で、身近な人々、社会及び自然に直接働きかけるとい^①う一方方向性のある活動である。自分とのかかわりに関心をもつということは、外部の環境からの刺激に対してただ表面的に反応するのではなく、それが自分にとって価値があると実感し、それへ積極的に向かっていくことである。すなわち、児童を取り巻く人々、社会及び自然が自分自身にとってもつ意味に気づき、身の回りにあるものを見直し、切実な問題意識をもって、新たな働きかけをしたり表現したりなど^②することである。

例えば、身近な人々に対しては「(学校探検で)校長先生と握手をしたよ。名前はまだ分からないけど、明日からあいさつができるよ」というように、かかわることを通して、よりよい生活ができるようになることを目指している。また、動植物に対しては、ただ眺めて観察するだけでなく、手で触ったり、抱いたり、水や肥料をやったりというようにして親しく接する。そうすることにより、児童は次第にそれらに心がひかれ、親しみや知的好奇心・探究心を覚え、驚いたり喜んだりするようになる。そうした中から学力の芽が生まれるようになることを期待している。^③^④

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 3 『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 2 章 生活科の目標 第 2 節 学年の目標 1 学年の目標の設定 (2) 学年の目標の構成」に示された学年の目標の構成のうち適切ではないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自分自身に関すること
- イ 主に自分と人や社会とのかかわりに関すること
- ウ 主に自分と自然とのかかわりに関すること
- エ 生活科特有の気づきの質に関すること

問 4 次の文章は、『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 3 章 生活科の内容 第 2 節 生活科の内容 (7)」の説明についての抜粋である。文章中の から の空欄に当てはまる正しい語句の組合せを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

どのような動物を飼育し、植物を栽培するかについては、各学校が に応じて適切なものを取り上げることが大切である。飼育する動物としては、 もの、児童が安心してかかわることができるもの、えさやりや清掃など もの、動物の成長の様子や特徴がとらえやすいもの、児童の夢が広がり多様な活動が生まれるもの、などが考えられる。

	A	B	C
ア	地域や児童の実態	普段目にする機会が少ない	児童が大人と一緒にできる
イ	教育課程やねらい	普段目にする機会が少ない	児童の手で管理ができる
ウ	地域や児童の実態	身近な環境に生息している	児童の手で管理ができる
エ	教育課程やねらい	身近な環境に生息している	児童が大人と一緒にできる

問 5 『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 3 章 生活科の内容 第 2 節 生活科の内容 (9)」の説明の文章中で示された内容として適切ではないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自分の成長を振り返り、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどの自分の成長が実感として分かるようにする。
- イ 自分の成長を振り返り実感させるため、一律に過去から順にたどるようにする。
- ウ 各内容との関連を意識し、年間を見通した計画的な学習活動を構想することが必要である。
- エ プライバシーの保護に留意するとともに、それぞれの家庭の事情、特に生育歴や家族構成などに十分配慮する。

問 6 次の文章は、『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項 (2)」の説明の文章中にある「継続的な飼育、栽培」の説明についての抜粋である。文中の と の空欄に当てはまる正しい語句の組合せを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

動物や植物へのかかわり方が深まるよう継続的な飼育・栽培を行うとは、一時的・単発的な動物や植物とのかかわりにとどまるのではなく、例えば、 で成長を見守ること、 の栽培活動を行うことなどである。

	A	B
ア	学校の児童全員	開花や結実までの一連
イ	学校の児童全員	一週間のうち複数回
ウ	季節を越えた飼育活動	開花や結実までの一連
エ	季節を越えた飼育活動	一週間のうち複数回

問 7 『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項 (3)」には「具体的な活動や体験を行うに当たっては、身近な幼児や高齢者、障害のある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができるようにすること」とされている。多様な人々との触れ合いについての説明のうち最も適切なものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 多様な人々とは、学校生活や家庭生活を支えてくれる人々、近所の人々や店の人のみを指す。

イ 多様な人々と触れ合う活動については、日常的にかかわれる人との活動を基本にする。

ウ 低学年の児童においては、異なる文化や習慣をもつ人々との交流はなるべく行わない。

エ 多様な人々について、それだけを取り出して指導したり単元を構成したりする。

問 8 次の文章は、『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 2 節 年間指導計画の作成」の「5 2 年間を見通し立案する」の一部である。文章中の四つの下線部のうち記述が誤っているものはいくつあるか、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

生活科における身近な人々や社会，自然の事物や現象に直接ふれる学習は，社会科や理科の学習内容に関連している。また，それらを体系的に学ぶことや自分自身や自分の生活について考えること，多面的な活動や体験を通して考え，試行錯誤しながら自らの気づきを高めていく活動は，総合的な学習の時間にも連続し，発展していく。

- ア 一 つ
- イ 二 つ
- ウ 三 つ
- エ 四 つ

問 9 『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成 20 年 8 月)の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 4 節 学習指導の進め方」に示されている，生活科における気づきの質を高めるための学習指導の進め方について，小学校学習指導要領解説の記述と異なるものを次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 児童の実態を生かす
- イ 試行錯誤や繰り返す活動を設定する
- ウ 振り返り表現する機会を設ける
- エ 伝え合い交流する場を工夫する

問10 次の表は、国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校 生活)』(平成23年11月)の「第2編 評価規準に盛り込むべき事項等 第1 教科目標，評価の観点及びその趣旨等 2 評価の観点及びその趣旨」に示されている生活科の特性に応じた評価の観点と趣旨をまとめたものである。表中の と の空欄に当てはまる正しい語句の組合せを，下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

評価の観点	趣 旨
生活への関心・意欲・態度	身近な環境や <input type="text" value="A"/> に関心をもち，進んでそれらとかかわり，楽しく学習したり，生活したりしようとする。
活動や体験についての思考・表現	具体的な活動や体験について，自分なりに考えたり，工夫したりして，それを <input type="text" value="B"/> している。
身近な環境や自分についての気付き	具体的な活動や体験によって，自分と身近な人，社会，自然とのかかわり及び自分自身のよさなどに気付いている。

	A	B
ア	自分自身	すなおに表現
イ	自分自身	関係づけて思考
ウ	多様な人々	すなおに表現
エ	多様な人々	関係づけて思考

問11 食生活は生活の重要なファクターである。平成12年3月に文部省(組織・名称改正前)，厚生省(組織・名称改正前)，農林水産省の各省庁が連携して改定した「食生活指針」が出され，栄養面だけでなく，自己管理，環境問題，生活文化の側面にも言及した10項目を決定した。そのうち 適切ではないものを，次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 食事を楽しみましょう。
- イ 野菜・果物，牛乳・乳製品，豆類，魚なども組み合わせて。
- ウ ごはんなどの穀類の摂取は控えましょう。
- エ 自分の食生活を見直してみましょう。

問12 生活科の内容には食事に気をつけて生活しようとする意欲や態度の育成が含まれているが、バランスの良い食事を考える際に、小学校では、三色食品群を用いて食育を行うことが多い。次のアからエの中から献立と色との対応が正しいものを一つ選んで記号で答えなさい。

	赤	黄	緑
ア	パン	牛乳	キノコのソテー
イ	鯖	ご飯	わかめときゅうりの酢の物
ウ	スパゲティ	ハンバーグ	にんじんジュース
エ	きんぴらごぼう	豆腐	おにぎり

問13 地域における公共施設等を学習に利用するにあたり、児童の学習活動に重要な役割を果たす施設の一つに博物館が挙げられる。博物館の事業内容として適切ではないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 資料を豊富に収集し、保管し、及び展示する。
- イ 資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行う。
- ウ 施設の設置及び管理に関し、必要な指導及び調査を行う。
- エ 学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励する。

問14 児童が、学校周辺の林で秋の自然と触れ合い、かかわって活動して、たくさんの落ち葉を見つけた。このうち、クヌギの落ち葉はどれか。次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア サクラの葉 のイラスト

イ クヌギの葉 のイラスト

ウ イロハモミジの葉 のイラスト

エ スズカケノキの葉 のイラスト

著作権者の承諾得られず不掲載

問15 生活科で飼育する動物として、メダカやオタマジャクシなどが考えられる。水辺の生き物を飼育するには、水替えなど生き物にとってよい環境を保持することが必要不可欠となる。次のアからエのうち、適切ではないものを一つ選んで記号で答えなさい。

ア 水道の水を使うときは、くみ置きして1日太陽に当てる。

イ 雨水は空気中の汚れが付着しているので使用しない。

ウ 水面に汚れの膜が張ったらティッシュペーパーなどを広げて吸い取る。

エ 水は半分捨てて新しいものを足し、一度に全部替えない。

問16 植物の栽培に関し、たねをまいてから1年以内に開花・結実して枯死するものを1年草という。特に春にたねをまく春まき1年草をまとめたグループを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア	コスモス	アサガオ	ホウセンカ	ヒマワリ	マリーゴールド
イ	キンセンカ	ヤグルマギク	パンジー	スイートピー	ルピナス
ウ	キク	シャクヤク	キキョウ	ホトトギス	リンドウ
エ	シクラメン	アネモネ	ラナンキュラス	グロキシニア	カラー

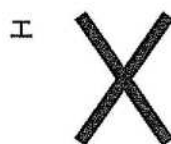
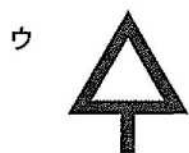
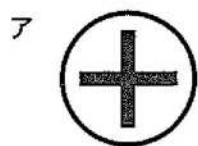
問17 動物の飼育に関連して、カタツムリのえさとして適切なものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア にぼし
- イ イトミミズ
- ウ リンゴ
- エ どんぐり

問18 就学前の幼児との交流を図る機会を生み出す活動場所の一つとして幼稚園が挙げられる。現行の学校教育法における幼稚園の教育の目標として適切ではないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どものさまざまな欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る。
- イ 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養う。
- ウ 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養う。
- エ 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養う。

問19 安全な登下校ができるようにするために、地図をもとに通学路を調べていた児童たちは、通学途中に交番があることに気付いた。以下の地図記号のうち、交番はどれか。次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。



問20 児童たちは、公民館で行われる長寿のお祝いに参加することになった。賀寿(歳祝い)について、年齢が低いほうから順に並んでいるものはどれか。次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 米 寿→卒 寿→古 希→白 寿→喜 寿
 イ 古 希→卒 寿→喜 寿→白 寿→米 寿
 ウ 古 希→喜 寿→米 寿→卒 寿→白 寿
 エ 米 寿→白 寿→古 希→喜 寿→卒 寿